



## いばらきダイバーシティ宣言

急速な人口減少社会の進展や少子高齢化、経済・社会のグローバル化の進行など、社会情勢は大きく変化しております。

このような中、活力があり、持続可能な地域社会をつくるためには、多様な人材の活用により、ニーズの変化や急激な環境の変化などのリスクへの対応力を高めることが重要であると考えます。

その実現のためには、年齢や性別、国籍、障がいの有無、性的指向・性自認等にかかわらず、一人ひとりが尊重され、誰もが個々の能力を発揮できる社会、多様性が受容されるダイバーシティ社会の実現が求められています。

私たちは、ダイバーシティ社会の実現に向けて次のことに取り組むことをここに宣言します。

当協会では日常の歩行移動の自由、情報の確保、職業の安定などの課題に積極的に取り組んでいます。視覚障害者も一県民として個性と人格が尊重され、安全で安心して生き生きとした社会生活を送ることができる、共生社会を目指して日々活動を続けています。

福祉サービスの地域間格差をはじめ、駅ホームからの転落による死亡事故や不適切な障害者雇用率の問題など、障害者をめぐる課題は山積しております。

これからも、視覚障害者が生活するうえでの幾多の困難と課題を、各界各層の県民の理解と協力のもとに解決に導き、地域で安心・安全に暮らせる共生社会の実現に向けて行動することをここに宣言します。

令和4年6月1日

社会福祉法人 茨城県視覚障害者協会

理事長 坂場 篤視